

## 職業訓練生に対する事業所講話

日時：平成26年3月18日（火）

場所：愛媛県職業訓練支援センター

### 【対象者】

ポリテクセンターの訓練生 63名

### 【出席者】

ポリテクセンター愛媛

訓練課 課長 平賀祐伸 様

〃 事業主係長 小笠原雅彦 様

〃 電気、電子系 職業能力開発指導員 末光祐司 様

〃 〃 〃 楠本考司 様

〃 〃 〃 中野慎也 様

〃 技術系 職業能力開発指導員 杉戸孝徳 様

〃 〃 〃 樹神歩夢 様

#### 1. ポリテクセンター愛媛 訓練課 平賀課長の司会と説明

訓練生の皆さんの就職活動の中で、どこかで役立てて頂けたら良いなということから実施しております。宜しくお願ひ致します。最後に質問等がありましたら応えられる範囲で答えて頂いたらと思います。

#### 2. 出席者の紹介、順次にあり

1) 愛媛県空調衛生設備業協会 会長 佐藤さん

2) 〃 〃 副会長 土居さん

3) 後程お話を下さる(株)明成 社長 佐藤さん

4) ホーム設備(株) 会長 岡部さん

5) 大西工業(株) 社長 大西さん

6) 日機愛媛(株) 社長 竹下さん

以上6名の方にお出を頂いております。この他に、重松兄弟設備 清水専務、三和ダイヤ 佐々木社長、豊田冷機工業 豊田社長も出席。計9人となる。

#### 3. 愛媛県空調衛生設備業協会 佐藤会長 挨拶

私たちは愛媛県空調衛生設備業協会と申しまして、世間には設備という物は

多くありますが、我々人間の生命にかかわる、生きて行くためには欠くことができない水であるとか、空気であるとか、それ等を扱う普段には聞きなれない管工事の部類であり、建設業種の一つであります。水道工事、下水道工事あるいは空調設備があり、主に建物関係の設備を作っている業者が集まり組織して運営している協会でございます。

加盟している企業は、仕事を通じて地域の為に頑張って雇用を計り、事業活動に一生懸命力を入れて発展すべき努力をして居ります。どの産業も同じ事がありますが、多くの入職をしてもらい、企業そのものは世の中に対して役立つ事を目標に経営をして居ります。それにはあらゆる場を借りて、我々も宣伝活動もして、多くの人達に知ってもらう必要があります。その為にこの様な時間をいただきました。

一言だけ話をさせていただきますが、どの産業も業種を問わず、仕事というものは非常に辛いものなんです。非常に体力的に過酷な事もあり、又精神的に辛いものがあり、自分の心が整理しきれなくなり、場合によっては環境に合わなくなって転職を考えると云う事もあります。私どもの仕事も現場に於いては厳しいものがあります。

今日お見えになっている各企業の会長さん、社長さんなりも、その現場等で苦しい思いを経験しながら、なお熱意を持って進んでいるのです。苦しい中で辛抱しきれ、人がようやらない仕事をわしはやってやると言うぐらいの心意気がないと、次の段階のステップを踏む事ができない。ハードルを毎日の仕事の中で越えなければならぬ。我々生きている人間の中には常につきまとう面白い事があまり無い。既に経験をされて居られる事であると思いますが、その様な事で我々は仕事をして、そこの成果を見てやれやれと思ひ、辛い作業を続けながら今日までやって参りました結果、何とか皆さんとお会い出来る事にもなった訳です。他の産業と同じように建設産業そのものも人手不足で、メディア等でお気づきの点であろうと思いますが、少しでも我々の業界の中に機会があれば、この講習会が非常に為になり、入職をして頂くことができるようお願い、大切な時間を提供して下さいまして皆様方にも役に立つものであればと思っております。最後までよろしくお願い致します。どうもありがとうございました。

#### 4. 紹介の後に講話 「協会案内講話」 (株)明成 佐藤隆史社長

皆さん、今日は、我々が携わっている管工事業について説明致します。前に出していますように、愛媛県空調衛生設備業協会と非常に堅苦しい名前が出て居りまして、取っつきにくいだろうと思ひます。前にしゃべっていたのは、私の会社の創設者で、私は会社を継いだ2代目であります。

今日一緒に見えている方々は、創業者もあれば、私と同じ後を継いだ2代目

もあれば3代目の皆さんが企業をやっている人達です。その企業の集まりがこの協会の特徴であります。愛媛県空調衛生設備業協会の名前の通り、愛媛県内に所属している会社でございます。

早速、管工事業について、建設業の中の一業種で大変裾野も広く奥も深い仕事だと理解し、我々は取り組んで居ります。ですから、概要だけの説明といたします。表現は通常使っている言葉で話す事となりますので、解りづらい部分があるかもしれませんが、御了承を願います。

管工事とは、冷暖房空気調和設備、給排水衛生の設備の為の機器類を設置する工事であります。

順次工事の工種について、プロジェクターの映写により  
(天井内配管、屋外部配管、公道面の配管、機械室配管等。そして、設備機器の据付状況、他機器の用途と使用場所の他、機器の名称、換気関係のダクトの設置等の説明を行う。

その他、将来性についてと業種の社会的な価値についても話を行い、環境関係についても重要な仕事なる点も強調する。

仕事を行う上で必要な資格の種類と役割について、資格の取得方法、管理業務、現場従事者の有資格者の重要性等の説明を行う。

また、仕事をする上において、苦勞する状況と具体的な施工上の問題点の一部説明を行い、成果と完成時の感動についても伝え、管工事業の重要性とたずさわっている自分たちの仕事に対して誇れる役割に自負を持っている事を伝え、説明を終る。)

## 5. 会社 PR

### 1) ホーム設備 (株) 岡部秀雄会長

皆さん、こんにちは。こんなに大勢の皆さんが居られるのには驚きました。これから色々な仕事に向かって訓練をされて居られる事、素晴らしい集団だと感心致しました。

今程の説明にありましたように、我々の業界は人間でいえば、血液とか肺とかのように非常に大事な仕事をしている業界でございます。なかなか我々の業種は3Kと言われるように表に出てにくい業種で、理解でない方も随分いらっしゃるのではないかと思います。一度我々の業界に入ると定着率が良く、監督さん、あるいは技能者と共に仕事を覚えて行けば奥が深く、業種にのめりこんで行くと言います。うちの会社も従業員25～26人が居り、ホーム設備と申しまして、この通りから電車通りに行く左側にあります。若い20歳代も居れ

ば、50歳代も居ります。50歳以上の者も二十歳位からずっと居り、非常に定着率が良い。しかも、仕事も公共事業から始めて地域密着型の水まわりの仕事で、逆に地元では、ある面、便利屋さんというか、大事な業務でありまして、水漏れ等ありまして、そこに行き、部屋中が水浸しになるとか、色んな事例がありまして、その時は即電話して対応すれば、一般市民の皆さんに非常に喜んでもらえます。そういう意味で、生きがいのある仕事でありまして、どうか皆さん、これからそれぞれいろいろな過程を得て行く中でも、管工事の業界にも目を向けてもらって、一つ我々と一緒に給排水の工事、空気の工事等を通じて生きがいのある仕事について頂きますようお願い致します。これからの御活躍に期待致します。御静聴ありがとうございました。

## 2) 日機愛媛(株) 竹下明伸社長

わが社は、主に空調関係の仕事をしている会社ですが、創業して51年目を迎えておりまして、私は3代目になります。

ところで、先程から専門的な業界の話をして頂きましたが、ご理解いただけましたでしょうか。

この業界の仕事において、例えばエアコンの仕事を子供の頃からやってみたいという人はまずいないと思います。しかし、車を設計したい、車を造りたい、トヨタ自動車に行きたいと思われる人は沢山おられます。そんな環境下ですが、我々がやっている空調・衛生設備工事は、生活していく上で無くてはならない仕事なのです。しかし、なかなか若い人が興味を持ってもらえないのが現状です。私は、父がこの仕事をしておりまして、後を継ぐこととなりましたが、私自身もこの仕事が嫌いではなかったのですが、心底好きではなかったのです。35歳の頃まで、心の中に「本当にこの仕事をやりたいのか」という気持ちがありました。そんな時に、子供の頃に英語が得意な人は英語が好きで、算数の得意な人は算数が好きだなあと思いました。逆の発想をしたら、この仕事が得意になれば好きになれるのではないかと思い一生懸命仕事をしたら、この仕事を好きになり誇りを持てることが出来ました。

皆さん方は、この仕事はあまり知らないと思いますし、今は興味もないと思います。しかし、どんな仕事でもその道のプロになれば好きになるので、いろんな仕事に興味を持っていただきたいと思います。

さて、この仕事の技術職は、職人さんか監督さんかということで大きく違ってきます。監督さんは自分で色々な事を計画して職人さんに物を作ってもらう仕事であり、職人さんは計画に従って現場をきちっと仕上げていきます。

また、わが社はエアコンのメンテナンスもしておりますので、ドライバー、ペンチなどの工具を持って修理に行く仕事があります。特に夏場などは修理が

立て込んで、一日20件、30件電話が入ってくるので大変な仕事量になります。社員に聞いてみますと、どこに行っても皆さんから喜んでもらえて「本当に有難う」と、暑い中修理に行ったら治れば冷たい空気が出る訳で、皆さんからとても感謝されることが凄くやりがいだと言っておりました。

短い時間の説明ではありましたが、どんな仕事でも一生懸命やれば好きになるし、慣れるのではないかと思います。わが社の会社案内も置いておきますので見て頂きましたらと思います。どうも有難うございました。

### 3) 重松兄弟設備(株) 清水盛士郎専務

皆さん、こんにちは。私は重松兄弟設備に勤めて居ります。北条に行く196号線の左側にあります。変な会社名ではあるんですが、重松兄弟設備どこかで見られた方も居られるのではないかと思います。

私の方からは、ごく簡単な話です。既に先程からこの仕事は無くならない仕事ではありますが、皆さんの日常生活を想像してもらいたいのですが、突然に蛇口から水が出ない、ある日突然排水がつまって水があふれ出した、「あ〜困った困った」。先程の話にありましたが、夏の暑い日にエアコンがきかない、止まってしまう、そういう事が正常に運転していればなんでもなく当たり前のことなんですが、壊れて非常に皆さんが焦ってしまって、あゝこういうことが普段からしっかりと機能して使えているから日常平穏な生活が出来るんだと言うところの仕事です。

家庭では水が出なくなったり、つまったり、エアコンが動かなくなったりする事はないのですが、商業施設スーパーだったり、映画館だったり、あとは病院と、そういう大きな施設になればなる程、お客さん、患者さんが非常に不自由な思いをします。その様なことがないように、我々がしっかり工事をして故障が無いように、もし故障がした時はすぐに治すという事をやっています。先般も地震がありました、愛媛県も揺れたのですがあまり被害はなかったんですが、芸予地震の時には結構ビルの機能が止まったり、空調がきかなくなったり、多大なる被害が出ました。その時も、お客さんが困っているのが解りますから、我々がすぐに駆けつけて行って直しました。

なかなか目立たないかもしれないですが、お客さんが通常の生活が出来る様に陰ながら支えている仕事です。先程から出てますが、エアコンとかトイレ、風呂とかを見て目に見える所でなくて、見える所は我々が付けているのですが、一番メインは目に見えない所の天井裏であったり、土の中であったり、そういう所で頑張って作業をしています。ライフラインにまつわる仕事ですので、皆さんも興味を持たれたら、我々と一緒に生活を支える大きな仕事だと言う事を自負しながら仕事に従事して頂けたらと思います。御静聴ありがとうございます。

ました。

#### 4) (株)土居鉄工所 土居仁社長

最後に私の方から少し話をさせていただきます。

私の会社は、南予の大洲にあり、「土居鉄工所」と申します。鉄工所と言う名の通り、管工事とは別に、建築鉄骨工事、他に木造建築工事もやらせていただいております。

実は先般、私どもの協会で吉田高校 機械建築科2年生の生徒さん方に、出前授業を行いました。その折生徒さんに、お楽しみゲームと言うことで、管工事に関するクイズ問題を出題しました。今回同じ問題を皆さんにお渡ししております。興味のある方は、是非チャレンジしてみてください。

先ほどお話された重松兄弟設備の清水専務の話と重なりますが、3年前に八幡浜工業高校でも出前授業をしました。本館新築工事の衛生設備を担当しておられた監督さんに話をさせていただきました。「私たちの仕事は、蛇口をひねったら水が出る、その水が流れる、スイッチを入れたらエアコンから温かい又は冷たい風が出る。その当たり前の事を当たり前にやっているだけです。ただその当たり前が災害等により当たり前でなくなった時に、私たちの仕事の大切さが皆さんに解かってもらえる。いわゆる、皆さんのライフラインを守る仕事をしております。」 そう話して頂きました。その話には私は大変感動しました。

現場では建築屋さん、電気屋さん、大工さん、左官さん等みんなと一緒にあって、力を合わせて一つのチームとして建築物を仕上げております。ホーム設備の会長さんも話されましたが、私たちの仕事は建築物を人の体に例えると、心臓又、動脈、静脈等大切な部分をこの管工事業が担っております。

私たち、管工事業の仕事のPRをさせていただきました。

本日は本当にありがとうございました。

#### 6. 平賀課長の方で質問を求めたが、格別の質問はありませんでした。